

氣功
療術
加齢
止め
健身
太極

大元氣帶功大会

表 演 順 番

1、『千手観音祈願の舞』

師範：シルクロードダンス 原作者 鐘雪先生

2、『太極八法』、『太極推手対戦套路』

師範：在日中国気功太極拳協会会長 談衛東先生

3、『大成手印功』（全員参加）

師範：王気功事務所代表 王博陽先生

4、『中国道家医学気功 画三円』

『中華超能力協会 宇宙気功 指のぼし功』

師範：NPO 法人サアン医学気功研究学院長 山田千鶴子先生



5、『仙道金鎖流珠仙術』実用祈願法（全員参加）

この仙術はより多くの人々が修練する事でより大きい効果を得る事ができます。皆様も本大会で習得した事をお帰りになった後、ご家族やご友人にも教え、皆さまと一緒にたまたまに実行して下さい。

師範：全日本気功療術師養成学院主任講師 梁蔭全先生

6、『たのしいツボを叩打功。全員で一緒にしましょう。』

師範：中国養生法普及会会長 王廷娟先生

7、『太極養生杖』、『太極内勁発勁法』

師範：中国伝統武功会長 劉湘穂先生

8、『中国健身気功』

師範：NPO 気功文化センター理事長 劉超先生

9、『全日本気功療術師養成講座』第一回修了実演

一段/二段/三段/四段/五段/六段/七段/八段（全員参加）

師範：全日本気功療術師養成学院主任講師 梁蔭全先生



主催：社団法人全日本養生協会、全日本気功療術師認定協会

共催：中国養生法普及会、NPO 法人サアン医学気功研究学院、王気功事務所、人体科学情報技術研究所、日華堂、中国伝統武功協会、日中武術交流協会、中国武術気功協会、NPO 法人気功文化センター、在日中国気功太極拳協会、梁蔭全気功事務所、不老不死科学研究所

2012年12月16日

「祝第一回日本気功療術養成講座の成功並び各先生及び友人と諸學員に感謝の言葉」

何10年前から気功療法を使い、患者さんに施術して依頼、毎月欠かさず8時間の修練の他、常に夢の中でも気功修練に取りつかれ、更に患者さんの対応療法を考えてきました。ここ10年の間、私はすべての疾病に対し自信をもってきましたが、近年、繰り返し修練と研究のすえ、気がついたことがあります。人は生存中、有害物質を吸い続けており、病と戦う環境におかされていること。この現実には誰も変える事が出来ないのです。私が毎日苦難に耐えて修練してきても、人体のバランスを正し、生命力を強化させて、病因を絶つことが出来ないであろうかと思ひ、それで日本気功療術養成学院を設立し、この第一期日本気功療術師養成講座を開校しました。今回の気功療術師養成講座の期間中、私が感動した人々や出来事が数多くありました。ここで皆様へ心より感謝致します。

人間の色々な情感の中で、感動を得ることは大変幸せであります。今日も先生方や學員達に深く感動させられました。短い3ヶ月の養成講座でありましたが、39回の集中授業と修練、20数種類の私伝気功法及び療法の学習は並ならぬ難しさや辛さがあつた事でしょう。しかし、皆様は諦めず最後まで続けてこられました。大勢の學員の中には、会社の社長、芸術家、漢方医、鍼灸師、学者、理学博士、医師等々、また20数年色々な気功を修得した気功師、高名な太極拳名人もいました。また何人かの癌患者の方、各種慢性病患者の方や、そして毎回新幹線を利用してこられた遠方の方がおられました。皆様の中で最高齢者は86才で、70才以上の方も10名以上いました。当然20代、30代の方もいました。

残暑厳しい9月から寒さが増す11月迄、毎回の授業で実践修練の立ち姿で2時間以上も続くことがありましたが、誰も悲鳴をあげることなく、最初から最後まで真面目に取り組んでいました。最初、大多数の人は10分で疲れを感じていましたが、3ヶ月後、養成講座の進展により、個人差はありますが、体質と生命力が増強されて、ほとんどの學員達は2時間から2時間半以上は出来る様になりました。これは本質で説明しますと、10分から始めて、120分以上持続することが出来るのは、皆様の体質が徐々に強化されて、人体生命力が大幅に強められたことの有力な証明です。この状況を見るにつれ、主任講師の自分にとって常にもっと細心に指導して、皆様の学習の情熱に応え、皆様が確実に学んだことにより人体免疫力を高められ、健康化の気功療法をマスターして体のバランスを保ち、人体生命力の増強効果を得られる様にしてまいりました。この度、皆様のお陰で第一回の講座が円満に修了致しました。

ここにて、中国養生法普及会会長王廷娟先生、王気功事務所代表王博陽先生、NPO法人気功文化センター理事長劉超先生、日華堂中医整体名家伍晏徹先生、TECHNIGAL、(株)フジックス須藤修一社長、某学校法人理事王豊先生、SMILE BODY STUDIO代表櫻木五美先生など、各位先生方のご友人、最後まで毎週お見えになり、感謝致します。同時にお忙しい中、現場で励まし、支持を頂きましたNPO法人医学気功研究學員長山田千鶴子先生、日中武術交流協会会長常松勝先生、中国伝統武功会長劉湘穂先生、中国気功武術会会長李志明先生、在日中国気功太極拳協会会長談衛東先生、漢方名医鐘辰良先生、中国民族舞著名舞踏家鐘雪先生、全日本気功師会会長張永祥先生、等の友人と先生方に感謝申し上げます。又、日本赤十字大学名誉教授川島先生より祝賀の花束を頂き、元全国知事会会長梶原先生が気功療術養成学院の発展の為に企画、助言を頂き御礼申し上げます。又、授業の合間に全課程の教材DVDを作成して頂きました渡辺市雄様、協力編集の品田直明様、永井勝重様、石田靖佳様、受付の山田嘉子様、石塚秋音様、監健吉様、翻訳の范秀菊様の方々に御礼申し上げます。

第一回日本療術師養成講座の成功は皆様の協力と支持によって、成功を収める事が出来ました。歳月が流れても、皆様の友情を心に刻み永遠に忘れません。皆様の心身の健康と安らぎをお祈り致します。約90日の訓練課程で、参加者の体は以前よりも強くなり、大多数の人は外気を発することが出来、自分や他人に施術もできる様になりました。更に気功療法は体育運動の様に人体に対抗して力を駆使するものではないことを理解して、理想化した宗教行為でもないこと、気功療法は平均的にバランス良く人体生命のエネルギー増加をさせ、人体を自発的に改造進化させる技術であります。そして、人体開発に使う第二潜在能力系統、肉体と意識の技術も含まれます。要するに、養成講座の第一段から第八段の課程は人体が宇宙に向かって溶け込む関門であります。私はしっかりと養成講座の學員達と約束できることは、皆様が練功の要求に沿って練習すれば各自の生命力の持続向上ができ、今後何十年も健康維持の保障が出来ます。

”命は我にあり、天にあらざる”必ず自由自在に自分の体をコントロール出来る様になります。

最後に今一度、先生方、友人達、學員達に感謝致します。

全日本気功療術師養成学院
主任講師 梁蔭全

北斗七星「金鎖流珠仙術」で唱える秘伝呪文の真意（解説A）

「北斗七星」エネルギーを吸収する修練法は以下に分類されています。

- 1、歩法、歴代の記録を調べてみたら、約100種類があります。
 - 2、手法（手のポーズ）
 - 3、脚法（足の踏みかた）
 - 4、拳法（拳の出し方）
 - 5、体形法（身体のポーズ）
- 2～5項の修練法は、合わせて1000種類にもなります。

今回は、「北斗七星 金鎖流珠仙術」エネルギーを吸収するための核心的な部分である呪文の本質と真相を話しましょう。実は、我々人体のすべてが存在し始めた（生を受けた）瞬間から、宇宙全体と綿々とつながっています。

1秒ごとに、地球が458.8mと自転している。また、太陽を中心に30キロと公転している。太陽系が銀河系を中心に250キロと周っている。そして、銀河系が600キロ/秒のハイスピードで蛇座（Hydra、北空の星座）惑星間へと移動しています。いわば、我々人間、すべての生物、無生物も日々、この地球というスーパー・スペース・シャトル（宇宙船）に搭乗しているようで、一刻一秒さえも宇宙より降ってきた色んな放射線の輻射から離れることが出来ません。人体の健康に有益な宇宙エネルギーが宜しいが、中にある有害なマイナス宇宙エネルギーが生体のバランスと健康を損なうものとなります。故に、太古から賢者の養生プログラムの中で、如何にマイナス宇宙エネルギーを避け、そのプラスエネルギーだけ吸収することが出来るかを研究のテーマとして追求してきました。そのため、種々「北斗七星 金鎖流珠仙術」の修練法が出来て、同時に「北斗七星 金鎖流珠仙術」を修練するための呪文も生まれた訳です。「北斗七星 金鎖流珠仙術」の呪文も数多くあり、その最も体系的な句を上げて、説明しましょう。

脚踏七星步步生、

天地三奇日月星、

驚天動地泣鬼神、

凶神見我叩頭拜、

惡殺見我走不停、

二十八宿随我来、

天兵天将伴我行、

報請、九天玄女斬妖怪。 その意味は、以下通りです。

宇宙の中でパワー最大な「北斗七星」（恒星）の上を踏み、わが身さえ忘れる。限りなく果て無い大空では、どこまでも活気溢れている。この上なく、剛し、強力な「純陽」の烈日、この上なく、温和で、柔らかな「純陰」の満月、さらに、数えきれない星たちよ、これらは、時空エネルギーが成されたわざと天空・大地、森羅万象の変遷による奇跡だと感じている。

この太陽、この月、無数な星たちの中に、わが身を溶けさせて欲しいと切に願っている。春、夏、秋、冬～移り変わる四季や生、老、病、死～この世の運命も創りかえの全てを、この手に載せるように！邪悪なエネルギーと性悪者を一切畏れずに、宇宙、またの宇宙のはてへとわれは、行く！

下界に淀んだマイナスなエネルギーを捕まえ、上空に舞い上がった有害な邪気を押さえた。東西南北にある二十八宿星座の巨大なエネルギーを一身に集めて、多くの清い正気の物質をリードし、過去・現在の時空をタイムスリップ！衆生済度、慈悲深く、穏やかな～高き理想を胸に、大空と未来の向こうへと赴く！自意識やわだかまりに束縛されずにいたら、わずかの一瞬に過去・現在・未来に宿ったあらゆる悪質な因縁！そして、結果！絶滅できる！

以上は「北斗七星 金鎖流珠仙術」呪文の一種です。大体は自分の中で黙念すればよい！夜空の下を歩み、星と星の間を踏み渡る。連続歩行の回数は、9、18、36、49、64、72、108回となります。呪文を黙念しながら歩行する際に急がず焦らず、悠々自在に行って宜しい。いくら早く祈ってあげようと思っても、あえて1000年、10000年も時間をかけて、この「北斗七星 金鎖流珠仙術」の歩き方を演習して行く気持ちで臨めば「北斗七星 金鎖流珠仙術」星座の真相が目前に現れ、やがてレーザー光線如くそのエネルギーに包まれ、溶け込み、満遍なくゆきわたって、わが身も「北斗七星」星座と一体化されていくほかありません！若しも上述した通り行えば、次第に効果倍増！



常松 勝

日中武術交流協会会長・国際伝統武術研究会会長。1945年中国大連に生まれる。終戦によりいわゆる中国残留孤児として育つ。7歳の時、養父の勧めにより高名な秘宗拳大師、越風亭から武術を学ぶ。秘宗拳、通背拳、翻子拳、增脚拳、太極拳を修め数々の大会において優秀な成績を残す。1978年、日中国交正常化に伴い日本に帰国。以降、日本における中国伝統武術の正統伝人として多くの若者に秘宗拳、通背拳の指導育成に当たる。日中間の武術交流を推進。

山田 千鶴子



1936(昭和11)年、群馬県高崎市に生まれる。1960年7月21日、高崎病院にて長男かまちを出産。法政大学文学部日本文学科卒業。日本専売公社(現JT)職員などを経て、株式会社サアン・クリエイションの代表として東洋医学研究所を設立。サアン医学気功養生所を併設、活躍を続けている。



王 廷娟

1942年生まれ。元北京体育大学教育心理学部担当講師。気功法の普及と現代化に女性らしい発想と経験を取り入れた数々のカリキュラムは、中国気功界においても高く評価され、気功および太極拳の普及に多大な貢献をなした。来日後は、東京大学と日本女子体育大学にてスポーツ科学を研究し、中国養生法を普及するために活躍中。中でも、子供のための「健康浴操」、老人のための「経絡叩打操」、女性のための「健美操」など誰にでもすぐに楽しめる独自の教授法には定評がある。

王 博陽



王氣功事務所・王氣功大成堂代表。気功療術師・医師。1972年北京市出身。幼少時より中国民間伝統気功の練功を始める。医科大学卒業後、北京市中央医学校臨床研究科にて勤務(専門:整形外科・リハビリテーション)。北京中医药大学中医学科学院人間国宝・蔵福科教授の下で大成推拿療法を修行。2001年来日。大成推拿療法を基盤とし、独自開発した王氣功大成推拿術・気功療法により多くの患者の診療にあたる



劉 超

80年代から、気功講師として養生気功の普及を行う一方、1994年より東京電機大学大学院人体科学研究室において、気功についての科学的研究を行っている。2003年3月に工学博士号を取得し、その後、気功の研究と普及のために世界中を駆け巡っている。日本統合医療学会(IMJ)評議員。NPO気功文化センター・日本医療気功学会・全日本健身気功国際連盟立上げ、現在中国九大健身気功全力普及中(健身気功五段)、健身気功国際レベル人材を育て、中国医学と現代生命健康長寿科学の解明に一所懸命頑張っています。

鐘 雪



1989年日本に留学、1995年日本大学芸術学部演劇学科日本舞踊科卒業芸術学士。☆在学中から、各業界が行なったさまざまな日中文化交流、公演、学園祭、チャリティ公演等の活動に積極的に参加し、日本各地で中国舞踊を広めている。☆NHK放送番組「中国語講座」の講師☆フジテレビ放送番組「全日本外国人選手権」に出演、「個人優秀賞」を獲得。現在に至る。☆2007年、フジテレビ放送番組「新春かくし芸大会」に参加した芸能人のために「千手観音」の振り付けと指導を担当し、高い評価を得た。



劉 湘穗

中国伝統武功協会会長・中医気功整体院 院長。1959年中国広東省広州市出身。幼少より祖父の劉徳介から洪家拳、先天功など家伝の武術を学ぶ。後に多くの老拳師に師事し、多数の優勝経験を持つ。広州中医学院卒業。現在は中国伝統武功協会会長(1990年設立)として、中国伝統武術の普及活動を行なう。2004年より自身の武術(劉氏功夫)、普及・発展の為、専門機関「洪家拳研究会」を発足させ、後進の育成に努める。

李 志明



中国広東省武術自由種目団体ヘッドコーチ、中国広東省武術協会常務委員、武術指導員会主任、全国武術コーチトレーニング大会指導員、世界武術コーチトレーニング大会指導員、中国嵩山少林寺武術協会コーチ、中国武術国家級審判員、武装警察総隊、嶺南特警隊武術コーチ、現在、日本武術協会中国武術国際師範。各種武術、拳術、古代武器、対戦、集団による練習などの教授。実戦対戦、関節技、護身術の教授。武術における気功、気硬功法、例えば槍推敲k喉で受ける技、絶壁を登る技、槍の上に腹で乗る技などの他、各種健康法も教授。映画、テレビなどの武術指導。こうした武術、気功などの教学、理論と実践経験を生かした業務の遂行の遂行。



談 衛東

幼少の頃より中国伝統武術を学ばれておりました。1980年中国で著名な気功太極拳大師の馬禮堂先生に、1985年中国十大武術家の一人でもある王培生大師に仰ぎ気功太極拳・八卦掌・健康気功などを学ばれました。その後1991年に南寧武学研究所の気功太極拳講師となり、教師として指導に当たられておりました。日中文化交流を推進するために平成5年来日され、その後に、在日中国気功太極拳協会を発足させ、東京、千葉及び埼玉各地で気功太極拳を教える活動に尽力されました。また、東京23区一部の区役所と保健所の気功療養教室、黒龍江医薬大学日本校での気功、太極拳講座の講師としても活躍中です。

梁 蔭全



7才より道教羅浮派の掌門主だった祖父について気功を学び始める。15才より今日まで、最も優れた気功法の数々を自ら選び、気功の神髄と奥義を追求。長期に渡り深山にて修業する傍ら、政府要人の治療等をし、1988年来日、気功の普及にも努める。特にガンの治療や遠隔調整に優秀な成果をあげている。中国国立中国管理科学研究院教授、社団法人全日本養生協会理事長、日本癌病自然回復研究所所長。NHK、フジテレビ、テレビ朝日、日本経済新聞、毎日新聞、産経新聞、朝日新聞、文芸春秋、読売新聞など数百種の新聞・雑誌・テレビで紹介されている。